

# 王余魚沢倶楽部

# Kareizawa

# Art かねいざわ

# Art アート ICHIBA III

2012.9.15 Sat ~ 9.23 Sun

王余魚沢は、かつて鮎沢(かれひさわ)とよばれ、旅人は集落から大豆坂街道をのぼり、峠の茶屋の鮎(干し飯)でひと休みしたといひます。古地図には、鮎沢という地名が「鮎沢(かれひさわ)」と表記されていた時代もありました。茶屋のもてなし方が、評判だったのかも知れません。

いま私たちは、人・情報・知恵を交錯させ、地域への心づかいを大切にしながら、アート、建築、音楽、環境、食、そんなボーダレスな表現活動と、地域における生産=市場=展示が、渾然一体となったコミュニティ空間をめざしています。今年は、王余魚沢集落で生活をしながら作品づくりをするアーティスト・イン・レジデンスを始めました。アートと暮らしの境目を行きつ戻りつしながら、時間をかけ続けていく作業の中から、この地に他の地域とは異なる「精神性」を醸成していこうというものです。

地域創造へと循環昇華する暮らしの新たなOSづくりをご期待下さい。



# 王余魚沢倶楽部

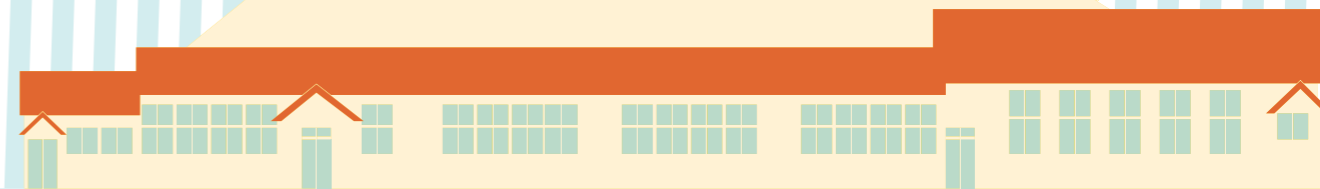
# Kareizawa

# Art かねいざわ

# Art アート ICHIBA III

## 2012.9.15 Sat ~ 9.23 Sun

—— ういむい未来の里 ~ 心をつなぐ 未来へつなぐプロジェクト Part III ——



りんご箱市場 / カレーコンペ / 復興芋煮会ほか  
作品展示 / ワークショップを開催!!

### 王余魚沢倶楽部

〒038-1313 青森市浪岡王余魚沢 1-18 / 旧王余魚沢小学校内

主催 | NPO 法人 あおもり NPO サポートセンター (ANPOS)

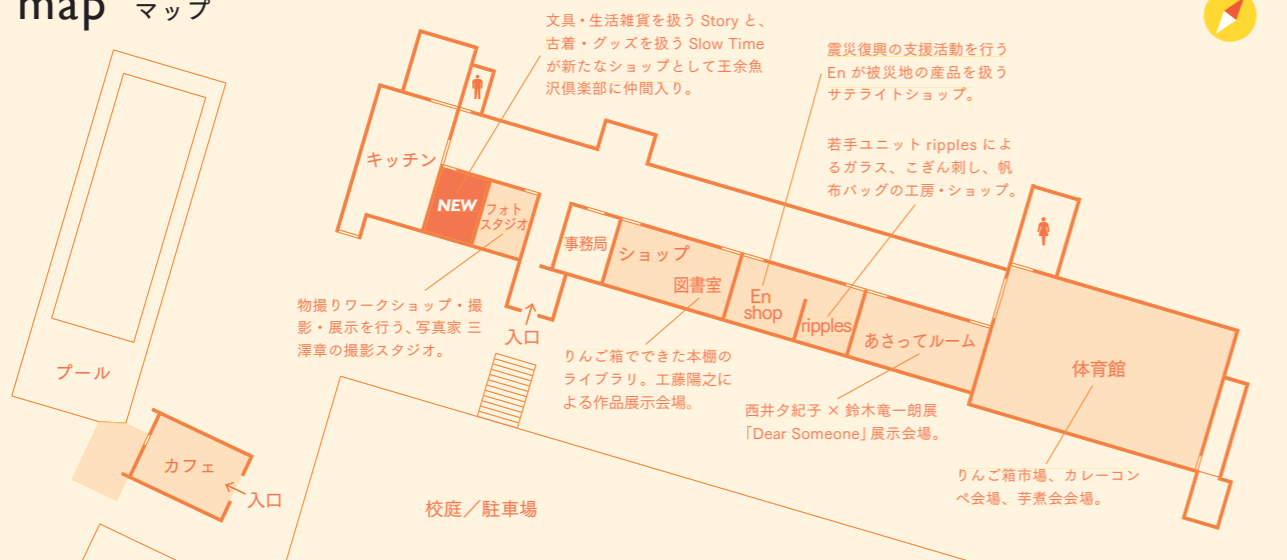
共催 | 王余魚沢町内会、teco LLC

協賛 | アサヒビール株式会社、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

財団法人 文化・芸術による福武地域振興財団



### map マップ



### café カフェ

11:00 - 17:00 定休日 / 木曜日

王余魚沢にちなんだ、王余魚沢カレーをメインメニューに、こだわりのコーヒーや王余魚沢倶楽部で育てたハーブを使ったメニューなど、王余魚沢の景色と共に楽しみたいだけです。



王余魚沢カレー (バターチキンカレー)

ミントジュレップ

### shop ショップ

11:00 - 17:00 定休日 / 木曜日

teco LLC オリジナル商品をはじめ、青森の新しいクラフト・ギフト商品を軸に、懐かしさ、美しさ、そして手のぬくもりが伝わってくるような商品セレクトでお待ちしております。



### access アクセス

- ◇電車をご利用の方  
JR 青森駅(東北本線、奥羽線)正面より浪岡行バスに乗り王余魚沢入口下車、徒歩約7分  
JR 浪岡駅より青森駅行バスにのり王余魚沢入口で下車、徒歩約7分
- ◇飛行機をご利用の方  
青森空港からタクシーで約7分
- ◇お車をご利用の方  
東北自動車道一浪岡 IC から約15分 / 青森市街より約30分 / 弘前市街より約45分



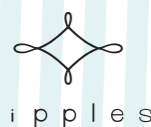
### 【かねいざわアート ICHIBA お問合せ先】

王余魚沢倶楽部 (ANPOS)  
〒030-0801 青森市新町 1-13-7 和田ビル 2F  
E-mail : kareizawaclub@a-nponet.jp  
http://www.kareizawa-club.com  
Tel : 017-776-9002  
Fax : 017-752-9095

### collaboration studio コラボレーション・スタジオ

11:00 - 17:00 定休日 / 木曜日

昨年の震災の復興支援を目的に、被災地の商品を扱うアンテナショップ「En shop」や、ガラス細工、こぎん刺し、帆布バッグなどの手仕事を行う工房兼ショップスペースの「ripples」、プロフォトグラファー三澤 章氏のフォトスタジオ「Studio am COLLABORATION」が入居中です。また、9月15日(土)より新たに、輸入文具やオリジナル文具を中心に生活雑貨やオリジナルアクセサリ扱う山間の小さな雑貨店「Story」と1960~1980年代のアメリカ・ヨーロッパの古着・グッズを扱う「Slow Time」がオープンいたします。この機会に、ぜひご覧ください。



【注意事項】\*駐車場は王余魚沢倶楽部敷地内に設けてありますが、普通車40台分となっております。駐車スペースの空きがなくなる場合がございますので、予めご了承下さい。\*駐車場内での事故・盗難等には十分お気をつけ下さい。万一、事故・盗難等が発生しても、主催側はその責を負いかねますのでご了承下さい。\*雨天の際は、駐車場(校庭)が大変ぬかるみやすくなりますので、どろりによるぬれ・汚れにはご注意ください。

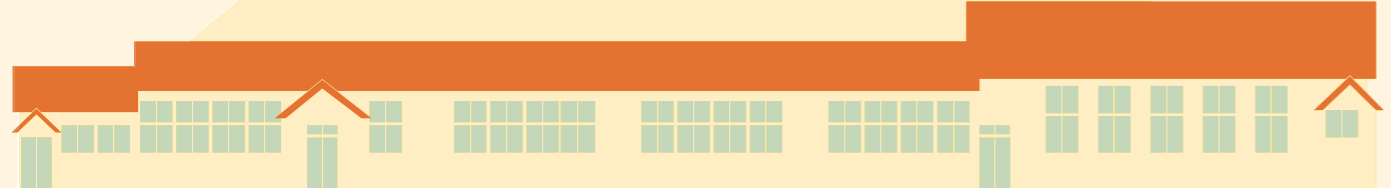
# 王余魚沢倶楽部

# Kareizawa

# Art

かれいざわ  
アートICHIBA

# ICHIBA III



## 「ういむい(有為無為)」とは？

手を掛けなければならないこと(有為)と、手を掛けずそのままであるべきこと(無為)を、はっきりと意識して生きていくことが大切だということです。

## event イベント

### 「りんご箱市場」

りんご箱を積んで作る「アート ICHIBA(フリーマーケット)」。出店応募者によるポーダレスな市場が旧王余魚沢小学校体育館に出現。

日時 | 10:00 - 17:00 **A日程** 9月15日(土) - 17日(月・祝)

**B日程** 9月22日(土)・23日(日)

場所 | 王余魚沢倶楽部 / 体育館

### 「カレーコンペ ファイナル」

これまで2度に渡って行われた王余魚沢(カレイザワ)の代名詞とも言うべきカレーを決めるためのカレーコンペの最終決戦を開催します。優勝は、出場者たちのカレーからみなさんの投票(ご使用のスプーン)によって、決定されます。優勝カレーは、9月22日、23日に王余魚沢倶楽部にて販売されます。

日時 | 9月16日(日) 11:00 - 14:00 / 優勝者発表・表彰 15:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / 体育館

※カレー購入は、チケット制となります。チケットは、当日会場にて販売いたします。

### 「En 復興支援企画 - 芋煮会」

被災者・県外避難者の方々を招待する王余魚沢農園 Fam Farm 収穫祭に合わせ、震災以降途切れていたコミュニケーションの場を少しでも増やし、被災者・県外避難者の方々の手助けできれば…との思いで芋煮会を開催します。食材は安心・安全な『復興支援ファミリー農園 Fam Farm 産』他を使用し、売上の一部を、復興支援金とします。

日時 | 9月23日(日) 11:00 - 14:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / 体育館

## exhibition 作品展示

### 「家族の肖像」

写真家 / 三澤 章による鑑賞者参加型の写真展。15日・16日14時～16時に、それぞれ限定5組で家族写真の撮影を行います。撮影したものは、22日と23日に展示し、その後、各家族に写真をお送りします。受付は先着順とし、当日も定員に達していないときは受け付けます。料金は無料です。王余魚沢地域の方を優先します。

日時 | 撮影 9月15日(土)・16日(日) 14:00 - 16:00

展示 9月22日(土)・23日(日) 10:00 - 17:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / Studio am COLLABORATION

### 「西井夕紀子 × 鈴木竜一朗」展

#### 「Dear Someone」

音楽のこと：

音楽には、生まれた場所があります。

音楽はまた、記録することを通して、生まれた土地を離れ、どこかへ(それが遠くても)出発することができます。

会ったことのない人へ、音楽で手紙を書くとしたら、どんなふうでしょう。私の住んでいる街の友人と、王余魚沢でこれから出会う人々による、まだ見ぬ誰かに宛てられた往復書簡が、一つの教室を満たします。そこには誰もいないのに、席を隣り合わせて座っているかのように空気をふるわせています。

写真のこと：

撮影を通じて対象と関係を結ぶとき、両側から向けられる意識のちょうど境界線にフィルムの膜があります。

フィルムという膜には透過性があるため、こちらの表があちらの裏で、あちらの表がこちらの裏という見方もできます。

ばらばらの土地で出会った人々が、私のまなざしそのものとしてか、鏡の世界からのものとしてか、こちらをじっと見ていて、訪れた人々の意識や記憶の合間を縫いながら、王余魚沢の教室を旅します。

「Dear Someone」は、音楽と写真による展示です。ある教室をよりどころとし、だれかとだれかのかすかな“かなめ”を描きます。

日時 | 9月15日(土) - 23日(日) 10:00 - 17:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / あさってルーム **【入場無料】**

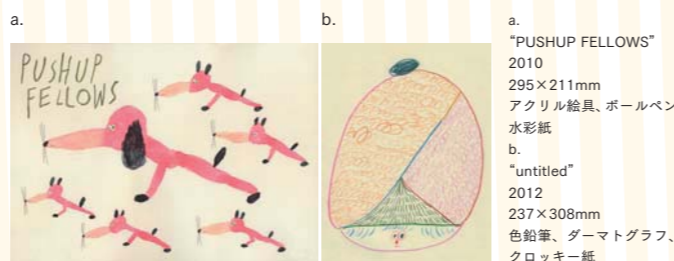
### 「工藤陽之」個展

#### 「もしもしHELLO」

弘前市出身・在住のイラストレーター / 工藤陽之によるドローイング・インスタレーション作品展示。チープな素材を媒体とした即席な表現の中に、しっかりとした味のある作品たち。日々描き貯めた作品を中心に、王余魚沢文庫のスペースを存分に活かした新作作品を発表します。展示期間中、時間に指定なく公開制作も行います。

日時 | 9月15日(土) - 23日(日) 10:00 - 17:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / 王余魚沢文庫 **【入場無料】**



## schedule スケジュール

<b>りんご箱市場</b>	<b>A</b> 9月15日(土) - 17日(月・祝) 10時 - 17時 / 体育館 <b>B</b> 9月22日(土)・23日(日) 10時 - 17時 / 体育館
<b>カレーコンペ</b>	9月16日(土) 11時 - 14時 / 体育館 (優勝者発表・表彰式 15時)
<b>En 復興支援企画 - 芋煮会</b>	9月23日(日) 11時 - 14時 / 体育館
<b>葉っぱと遊ぶ - こどもアートワークショップ</b>	9月16日(日) 10時 - 12時 / 校庭
<b>家族の肖像</b>	撮影：9月15日(土)・16日(日) 14時 - 16時 / Studio am COLLABORATION 展示：9月22日(土)・23日(日) 10時 - 17時 / Studio am COLLABORATION
<b>伝わる写真 - 物撮りワークショップ</b>	9月17日(月・祝) 13時 - 17時 / Studio am COLLABORATION
<b>その他の作品展示</b>	9月15日(土) - 23日(日) 10時 - 17時 / あさってルーム・王余魚沢文庫

## workshop ワークショップ

### 「葉っぱと遊ぶ - こどもアートワークショップ」

木製玩具のデザインをしてきた森トイチームが、自然と遊ぶことの原点に目を向けて、子どもたちと王余魚沢の葉っぱを使った、ポンチョ作りとお面作りをします。一緒に好みの葉っぱを見つけて、子どもたちの想像力と創造性を引き出しながら自然と遊ぶことの楽しさを伝えていきます。作った葉っぱの作品は、記念として持ち帰っていただけます。

日時 | 9月16日(日) 10:00 - 12:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / 校庭 (雨天時は屋内で)

講師 | MORITOIY / teco LLC

対象 | 4歳以上 (未就学児は保護者付添でお願いします)

定員 | 20名

料金 | 500円 (材料費含む)

### 「伝わる写真 - 物撮りワークショップ」

写真家 / 三澤 章による物撮りワークショップ。身近な素材の効果的な撮影方法を試してもらい、ブログやSNSなどにも活用できる、もっと伝わる写真の撮り方を伝授します。

日時 | 9月17日(月・祝) 13:00 - 17:00

場所 | 王余魚沢倶楽部 / Studio am COLLABORATION

講師 | 三澤 章 / 写真家

対象 | 一般

定員 | 10名

料金 | 1,000円 (材料費含む)

## ワークショップへのお申し込み方法

ワークショップへの参加お申し込みは、お電話またはEメールでお願いいたします。お電話またはメールで参加をご希望する**プログラム名、参加する方の氏名、電話番号**をお知らせください。子ども向けプログラムの場合は年齢もお知らせください。

☎ 0172-62-1562

✉ kareizawaclub@teco-llc.net

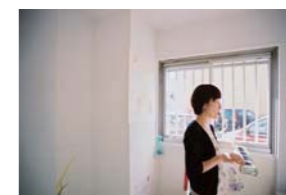
### 【お問い合わせ先】

王余魚沢倶楽部 (合同会社 teco LLC)

☎038-1313 青森市浪岡王余魚沢 1-18

http://www.kareizawa-club.com Fax : 050-3488-2796

## profile プロフィール



### 西井夕紀子 | 音楽家

1983年生まれ。東京国際芸術祭 2007 参加演劇作品『アトミック・サバイバー-ワーニャの子どもたち-』(演出:阿部初美氏)に曲を提供、2011年、演劇作品『ザ・マッチメーカー』(中野成樹+フランケンズ)でピアノを演奏するなど、舞台芸術に関わりが深い。パンクロックガールズバンド FALSETTOS でキーボードを担当。主宰する《もび》では、音楽家、ダンサー、美術家らのゆるやかな輪で、子どもを中心とした人々の集う空間に赴き、異なる場で育まれた習慣的な「からだ・考え」同士の出会いをコーディネートする。ワークショップ、パフォーマンスなど各地で実施。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業、同大学院修了。



### 鈴木竜一朗 | 写真家

1984年静岡県御殿場市生まれ。東京総合写真専門学校卒業。2009年より4×5インチフィルムの大型カメラを用い、自身と世界との“境界”を意識した作品の創作を開始。同年「よこはまばしアートビクニック TOCO」にて個展『PHOTOTAXIS』を開催。翌春には香川県の離島“直島”にて個展『UTSUSHIYO - うつしよ -』を開催しヶ月間現地に滞在する。以降、土地と人との結びつきに大きな興味を抱き、民俗学も重要なテーマの一つとなる。様々なジャンルのアーティストと関わりが深く記録撮影を担当するが、表現の垣根を越えて参加してしまうことが多い。



### 三澤 章 | 写真家

1952年長野県生まれ。76年、早稲田大学中退、コマーシャル写真の世界に入る。88年、東京から青森市に転居、Studio am COLLABORATION 設立。広告写真家(日本広告写真家協会会員)。NPO 法人あおもり NPO サポートセンター常務理事・事務局長。NPO 法人アート NPO リンク監事。NPO 法人アートコアあおもり理事。



### 工藤陽之 | イラストレーター

1978年青森県弘前市生まれ。セツ・モードセミナー卒業。広告制作会社でのイラストレーター、グラフィックデザイナーを経て、現在フリーランスで活動。2012年6月に銀座ガーデンアンガーデンにて、トークライブ(菊地敦己 × 斉藤涼平 × 工藤陽之)を開催。自身のブログ「ドローインドローイン」にて、オリジナル作品、活動記録などを発表している。

http://ameblo.jp/reitdeats3b/